

全学で本格キャリア教育

東京都市大

就業体験 寄付講座

東急グループ後押し

職業指導ファイル 1年生に導入

東急グループの五島育英会が運営する東京都市大学は、東急グループのインターシップ(就業体験)や寄付講座と結びつけたキャリア(職業)教育を本格化した。さらに2011年度の新入生全員に向けたキャリア教育の科目と、学びの記録などを積み重ねていくファイルを導入した。これまでは学科単位の取り組みだったが、大学の職業指導の体制整備が必須となったことから、全学で動き出した。

インターシップは10年度に約100社、約100人で始めた。東急グループ各社で18社に依頼し、実際に8社で19人が体験した。就職直結ではないが、グループには同大卒の採用枠を持つ企業

もあり、学生の反応は高いという。この4月には都市生活学部にも、東急グループ各社による寄付講座を開設。電鉄のほか不動産、流通、ケーブルテレビ、広告ビジネスなど、各社の幹部が事業戦

略などの講義を実施している。

1年生の新科目「キャリア教育基礎」は「キャリアポートフォリオ」が特徴だ。半期ごとに各学生がキャリアに向けた学

びを振り返り、活動記録や収集情報をファイルに集約する。就職活動時の基盤情報に仕上げるのが狙いだ。これに続き12年度には、2年生の新科目「キャリア教育」を立ち

上げる。各学科の教育方針や資格取得を反映させ、3年生以降の就職活動につなげていく。

文部科学省は今年度から、各大学に職業指導・キャリアガイダンスを行う体制整備を義務づけた。このため、正規・正規外の授業やキャリアセンターの運営など、各大学の事情に合った形でキャリア教育が本格化している。